

令和3年度 学校自己評価システムシート（埼玉県立越谷南高等学校）

目指す学校像	「文武両道」とおして「知・徳・体」の調和を実現し、目標を高く持って社会に貢献する人材を育てる学校
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 令和4年度新学習指導要領実施に向けて、PISA型学力の向上やICT活用による自学力向上を目指した授業改善・教材開発を推進する。 自主性を育む生徒指導や個に応じた進路指導を充実させるとともに、学校行事、部活動により文武両道に基づく豊かな人間性を育てる。 外国語科の特性を生かし、異文化理解を深めるとともに、語学力を高め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 本校の教育活動を積極的に発信し、地域・保護者・大学等と連携して開かれた学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	8名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							
年度目標				年度評価（2月1日現在）			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】令和4年度入学生の教育課程を編成し、新たに「PISA タイム」の導入を決定した。来年度2・3年生についても教育課程の見直しを進めている。</p> <p>・授業以外の学習時間が本校の目標時間に達していない。</p> <p>【課題】令和4年度教育課程の実施に向けて付帯事項の解決を図る。 Chromebook等を活用した学びで家庭学習時間の増加を支援する。</p>	<p>「PISA タイム」全校実施のために令和4年度教育課程を再編成する。</p> <p>1・2年生は、授業以外の学習時間を1日2時間以上又は週14時間以上を達成する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①全学年一斉導入に向けた教育課程説明会を5月末までに実施する。 ②3年間を見通した「PISA タイム」教材を開発し、実証する。 ①スタディサプリでの学習等により、隙間時間を有効活用させる。 ②越南 Diary でスケジュール管理をさせる。 ③学びの基礎診断(スタディサポート)を活用し学習意欲を高める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒・保護者理解をQ&Aで促進できたか。 ②実証実験と改善を繰り返し実施したか。 ①授業以外の学習時間数目標達成者60%以上 ②越南 Diary を60%以上有効活用したか ③生徒評価アンケートでの授業満足度80%以上 	<p>令和4年度教育課程を再編成し生徒及び保護者からも理解が得られた。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生徒・保護者への説明文・資料配布と校長の説明動画(5/15)配信。 ②来年度用教材は検討済。実証実験を2月中に実施予定。 <p>授業以外の学習時間2時間以上率 1年11.5%、2年12.7% 目標未達成。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スタディサプリ利用率1年100%、2年16.0% ②Diary 活用1年71.9%、2年23.1% ③アンケートで授業満足度94.8%が満足。 	B	<p>◎「PISA タイム」実施での通信環境、教材、実施方法等でのトラブルに対し、迅速な対応が課題である。</p> <p>○PISA タイム検討委員会での実施状況の把握と点検を定期的に実施する。</p> <p>◎1・2年生の授業以外の学習時間増が課題である。</p> <p>○隙間時間に学習コンテンツを積極的に活用させる。</p>
2	<p>【現状】ほとんどの生徒は、基本的な生活習慣を身に付けている。部活動、学校行事、生徒会活動にも意欲的で多くの部活動が高い実績を上げている。</p> <p>【課題】令和4年度定めた完全下校時間を守り、規律ある生活リズムを身に付けさせる。 コロナ禍での安全で充実感の持てる学校行事や部活動の運営を工夫する。</p>	<p>遅刻者ゼロを目指し、完全下校時間を徹底する。</p> <p>コロナウイルス感染状況に応じ、適切に学校行事や部活動を行う。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①始業前学習を奨励し、5分前登校を促す。 ②完全下校19時(体育館20時15分)を順守する。 ①感染拡大防止の観点から学校行事計画を適切に見直し、変更する。 ②ガイドラインに沿って部活動活動計画を策定し、生徒への周知と保護者への説明を円滑に行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①遅刻者数(昨年度以下) ②生徒アンケート(生活状況の意識の変化) ①学校行事の開催時期と実施方法の工夫したか ②毎月の活動計画を策定し生徒保護者に周知したか 	<p>遅刻者ゼロは未達成、完全下校時間は順守できた。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①1日当たり4.9名(-1.3名)達成。 ②学校ルール等の順守率98.6%。 <p>学校行事、部活動の重要性を鑑み、できる限り実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①遠足と体育祭は時期変更。体育祭と文化祭は実施方法を工夫。 ②県教委の通知に沿った練習計画の策定、生徒・保護者への周知、活動計画書の管理職への提出。 	A	<p>◎部活動休養日導入に伴う自分時間増での生活習慣の見直しが課題である。</p> <p>○週間月間学習計画を立てさせ実施報告もさせる。</p> <p>◎学校行事の開催延期や実施方法の工夫で開催することが課題である。</p> <p>○保護者への部活動日時等の情報提供を徹底する。</p>
3	<p>【現状】外国語科の強みを生かし普通科生徒の異文化理解が深まっている。コロナ禍で海外英語研修が未実施のため、国内の外部機関等と連携を模索している。</p> <p>【課題】オンラインの国際交流も検討する必要がある。</p>	<p>海外研修以外の国際交流活動等により、全校的に異文化理解に取り組む。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①ALTや第二外国語による異文化理解教育の推進を継続する。 ②コロナ禍でも実施可能な異文化体験の方策を実施する。 ③外部検定スコア結果分析と蓄積したスコアデータを有効活用する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①外国語科生徒の授業満足度が向上したか(昨年度80%) ②代替体験の実施と生徒満足度が得られたか ③GTEC等スコアの分析と中学生進路希望調査結果 	<p>アリティッシュエデュケーション・サマミナー、東京グローバルゲートウェイ語学研修は時期を変更して実施した。留学生受入はキャンセル。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①授業繰り下げで第二外国語授業に影響有り。授業満足度は100%満足。 ②実施時期変更の代替体験での生徒満足度は100%満足。 ③TOEICIP総合得点平均大幅アップ(昨年度+60.3) 	A	<p>◎海外英語研修中止に伴う代替体験で、高い生徒満足度の維持と英語力の向上が課題である。</p> <p>○留学生の受入と国際交流機関等との連携先や体験活動できる施設等を開拓する。</p>
4	<p>【現状】学校説明会2回で2200名参加した。ICT推進パイロット校として得られた知見やノウハウを多く蓄積している。</p> <p>【課題】コロナ禍での情報発信と学校説明会実施方法の改善が必要である。 ICT推進パイロット校で蓄積した知見を他校や異校種校へ還元する取り組みが求められる。</p>	<p>ICT推進パイロット校として蓄積した情報や教育活動の成果を発信し、生徒募集に繋げる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①ホームページにICT推進パイロット校で蓄積した情報を学期に1回掲載する。 ②ホームページの部活動ページを刷新するとともに、随時更新する。 ③コロナ禍に対応した安全で効率的な学校説明会を年間2回実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ホームページ内での情報公開を毎学期行ったか ②ホームページ更新数が昨年度(187回)を上回ったか ③学校説明会の参加者数向上(昨年度2200名) 	<p>蓄積した情報や教育活動の成果は提供や発信した。12/1現在中学生進路希望調査普通科倍、外国語科倍。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①6/1教育長視察。今年度の取組の情報公開は2回。 ②部活動ページは刷新済。ホームページ更新数184回(1/14現在、昨年度3回) ③第1回学校説明会中止。第2回学校説明会約1100名参加。新規個別学校説明会(4回)18組参加。 	A	<p>◎chromebook共同購入及びICT推進のための相談校としての役割が課題である。</p> <p>○教員派遣や教頭を窓口とした相談等を継続する。</p> <p>◎学校説明会の実施方法の工夫が課題ある。</p> <p>○他校実施情報を収集する。</p>

学校関係者評価	
実施日	令和4年2月18日(書面開催)
学校関係者からの意見・要望・評価等	
○「PISA タイム」導入により読解力等の向上を期待している。通信環境の充実もさらに進め、導入効果の測定では、学習意欲改善等が焦点を当てたアンケート調査をするよと思う。	○授業満足度94.8%は改善サイクルの成果と考える。
○分散登期間 Chromebook の活用により、不自由なく授業に取り組むことができた。今後は、対面授業や隙間時間等に Chromebook やスタディサプリを活用した学びの機会が増えていくことを望む。	○心身の悩み、不登校等の生徒への対応では、担任、各部が組織的に取り組んでいる。
○ほとんどの生徒が基本的な生活習慣を身に付けているのは素晴らしい。遅刻者を減らす取組で成果が見られる。	○教育活動全般で7割の生徒が肯定的であることは評価できる。更に割合を高めることが課題である。
○TOEICIP 総合平均点の大幅アップは大変評価でき、TOEIC 対策はとても良い取組だと思う。	○コロナ禍の中、国際交流、語学研修を継続している姿勢と先生方の努力に敬意を表する。
○英語でのプレゼンやデパートにより、思考力や表現力が高まったと思うので、今後も継続して欲しい。	○学校ホームページだけではなく、地域の各機関(新聞社、TV局、市役所等)への更なる情報発信の充実を望む。
○進路情報は在校生及び中学生保護者が重視する点であるので、随時アップロードすることが大切である。	

